

平成29年度の重点課題

- ①新体力テストを1～6年生男女別に分析し
た結果、平成29年度広島県平均値と平成28年度全国平均値を同等もしくは上回ったものが8種目中6種目以上という学年が男女共に4学年ずつある。しかし、男女間に差がある学年が多く、体力が安定している学年が少ない。
- ②種目別に見ると、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、立ち幅跳び、ボール投げの5種目を、ほとんどの学年が男女ともに平成29年度広島県平均値と平成28年度全国平均値を同等もしくは上回っているのに対し、握力、20mシャトルラン、50m走の男女の記録は、広島県平均値と全国平均値まで達していない学年が多い。
- ③総合評価でA・B判定の児童が全体の60.1%であり、D・E評価の児童が全体の11.8%である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ①運動の習慣化を図る。
・体育朝会での取組を休憩時間や家庭でも継続して行えるように体力向上に向けた多様な運動の取組を工夫したり、啓発活動を適宜行ったりすることで、運動の習慣化を図っていく。
・ロング昼休憩で遊べる遊びや、新体力テストに向けての動き作りなどを掲示板を活用して紹介し、児童の遊びの種類が増えるようにする。
・家庭でも取り組める体力を高める運動を、委員会等の発信で行う。
- ②授業改善をする。
・教具・教材を整え、授業のアイデアを教員間で共有できるようにする。
・授業の中での運動量を確保するために、握力・走力の向上を意識したサーキットトレーニングを準備運動等で取り入れる。

平成30年度新体力テストの結果（県平均値（平成29年度）・全国平均値（平成28年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.04	13.80	27.62	24.60	19.72	11.45	114.70	8.62	31.54	第1学年	8.64	13.62	27.33	24.82	15.85	11.85	100.58	6.33	31.05
第2学年	11.32	17.08	30.61	30.18	26.76	11.36	131.76	12.97	38.84	第2学年	10.46	16.95	32.34	30.20	18.46	11.50	120.63	8.51	39.29
第3学年	12.41	12.04	24.39	30.24	46.43	11.06	126.04	18.33	39.02	第3学年	11.62	12.45	29.38	29.55	37.14	11.38	105.71	8.95	38.69
第4学年	13.44	21.64	31.55	42.97	50.39	9.85	143.92	19.00	52.07	第4学年	13.28	17.86	38.09	40.47	40.58	10.15	138.93	12.19	51.88
第5学年	15.85	22.07	33.46	40.38	55.98	9.64	158.69	25.27	55.36	第5学年	16.90	20.73	38.90	39.39	40.76	9.87	151.51	15.35	57.49
第6学年	18.43	24.18	35.18	50.63	75.90	8.69	171.46	28.86	63.58	第6学年	17.40	20.78	37.83	46.84	59.54	9.45	153.98	14.18	61.91

県平均値かつ全国平均値未満

平成30年度新体力テストの結果（県平均値（平成30年度）・全国平均値（平成29年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.04	13.80	27.62	24.60	19.72	11.45	114.70	8.62	31.54	第1学年	8.64	13.62	27.33	24.82	15.85	11.85	100.58	6.33	31.05
第2学年	11.32	17.08	30.61	30.18	26.76	11.36	131.76	12.97	38.84	第2学年	10.46	16.95	32.34	30.20	18.46	11.50	120.63	8.51	39.29
第3学年	12.41	12.04	24.39	30.24	46.43	11.06	126.04	18.33	39.02	第3学年	11.62	12.45	29.38	29.55	37.14	11.38	105.71	8.95	38.69
第4学年	13.44	21.64	31.55	42.97	50.39	9.85	143.92	19.00	52.07	第4学年	13.28	17.86	38.09	40.47	40.58	10.15	138.93	12.19	51.88
第5学年	15.85	22.07	33.46	40.38	55.98	9.64	158.69	25.27	55.36	第5学年	16.90	20.73	38.90	39.39	40.76	9.87	151.51	15.35	57.49
第6学年	18.43	24.18	35.18	50.63	75.90	8.69	171.46	28.86	63.58	第6学年	17.40	20.78	37.83	46.84	59.54	9.45	153.98	14.18	61.91

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

- 県平均値かつ全国平均値未満の種目が「握力」、「反復横跳び」、「50m走」が、男女ともに6学年中4学年である。
- 女子は「立ち幅跳び」も6学年中4学年が県平均値かつ全国平均値未満である。
- 総合評価の結果、A・Bの割合41.4%、D・Eの割合24.2%で全体として体力の低下

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 体育科の学習において、課題の力に特化した運動を取り入れること、また、運動する習慣を付けることができるように具体的な取組を行う。
- ①準備体操の時に「走力」「握力」「俊敏性」を意識した、運動を取り入れる。
「走力」・・・股関節の可動域を広げる体操、もも上げ、鬼ごっこなど
「握力」・・・鉄棒などぶら下がりが、タオルや棒を使用した引つ張り合い、手押し車など
「俊敏性」・・・起き上がりダッシュ、ジャンプステップ、跳び越しくぐりなど
- ②全校での外遊びを推進する。
・毎週水曜日の昼休憩は全校児童が外で遊ぶ取組を行う。
・学級遊びの日を推奨し、学級の実態に応じて1週間に1回以上学級遊びに取り組む。
・ロング昼休憩を月に1回実施し、「走る運動」や「縄跳び運動」などを行う。

平成31年度の目標値

- 毎日外遊び・運動を進んで行っている児童を90%以上にする。
- 総合評価でA・B判定の児童を全体の60%以上、D・E評価の児童を全体の10%以下にする。